

2025年11月30日(11月第五主日)
アドベント〈待降節〉Ⅰ 主日礼拝式



「忘れないで」

1. 忘れないで いつもイエス様は
きみのことを みつめている
だからいつも 絶やさないで
胸の中の ほほえみを
2. だけどいつか 激しい嵐が
きみのほほえみ 吹き消すでしょ
だからいつも 離さないで
胸の中の みことばを

【次】

「忘れないで」

3. 忘れないで 悲しみの夜は
希望の朝に かわることを
だからすぐに とりもどして
いつものきみの ほほえみを

「御名を掲げて」

(詩篇148:13)

み名をかかげて あなたをたたえます
救いのために あなたは来られた
救いのみちを 与(あた)えに
天(てん)よりくだり 来られた
十字架により いのち あがない
よみがえられた

新聖歌67番 「わが心は」

- 1 わが心は 天(あま)つ神を尊(とうと)み
わがたましい 救い主を ほめまつりて喜ぶ
- 2 数に足らぬ わが身なれど 見捨てず
よろずよまで さきわいつつ 恵みたもう嬉しさ
- 3 御名は聖く 大御業(おおみわざ)は かしこし
代々(よよ)に絶えぬ みいつくしみ 仰ぐ者ぞ受くべき
- 4 ひくき者を 高めたもう み恵み
おごる者を 取りひしぎて 散らしたもう御力(みちから)
- 5 アブラハムの すえを永遠(とわ)に かえりみ
イスラエルを 忘れまさで 救いたもう とうとさ アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。

われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。

主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、

ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、

十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、

三日目に死人のうちよりよみがえり、

天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。

かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。

われは聖霊を信ず。

聖なる公同の教会、聖徒の交わり、

罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、

永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌70番 「朝日は昇りて」

- 1 朝日は昇りて 世(よ)を照らせり 暗きに住む人
来たり仰げ 知恵に富みたる主 世にいでたり
さとりなき人は 来たり学べ
- 2 力に満つる主 世にのぞめり か弱き人びと
来たりたのめ 安きをたまう主 世にくだれり
苦しめる人は 来たり受けよ
- 3 救いを賜(たま)う主 世に生まれぬ すべての人びと
来たり祝え 天地(あめつち)しらす主 世にあらわる
よろずのもの皆 どよみ歌え

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌62番 「天(あま)つみ民も」

天(あま)つ み民も

地にある者も

父 子 御霊(みたま)の神をたたえよ

神をたたえよ

アーメン